

小学校民間試験「英語トライアル」導入

さいたま市教育委員会は、6月10日各学校に「10万人の拍手」を指示し、この同じ日に、市内全小学6年生に技能効果測定「英語トライアル」を実施する文書をおろしました。6月10日というのは、まだ1度もクラス全員で集まったことのない、子どもの様子さえ把握できていない時期です。しかも、テスト実施日は一年で1番不安を感じやすい夏休み明けです。実施日まで20日を切っても、学校ではこれがどんなテストなのか分かりません。教育委員会は、子どもや家庭にも必要な情報を知らせていません。「決裁がおりないから」と教職員組合の「公開質問状」(7/8提出)にすら回答を出しません。

この現状や問題点を皆さまに知っていただき、思いやご意見をお聞かせいただけたらと思います。また、さいたま市教育委員会への直接のご意見も大きな力になります。ぜひ皆さまの声をお寄せください。

..........*.....*.....*.....*.....*.....*.....*.....*.....*.....*.....*.....*

Q1 「英語トライアル」って何ですか？

A 日本英語検定協会が作成した小学生の英語4技能「書く、読む、話す、聞く」を測る効果測定のようです。昨年度、市内のモニター校で2技能「英語トライアル」を実施したそうです。

Q2 どんな内容のテストですか？

A 学校にも知らされていません。どのように4技能を測るのか、例えばスピーキングなどの測定が難しい技能を実施するのかどうかも分かりません。
文書には、放送用CDが届く、テスト35分・アンケート10分と記載されていました。

Q3 アンケートってどんなものですか。個人情報や家庭教育に関わる質問もあるのでしょうか。

A 学校にも知らされていないので、分かりません。

Q4 いつやるのですか？

A 8月31日から9月4日の間で、学校の選んだ日です。

Q5 何のためにやるのですか。

A 子どもの成績に反映するだけでなく、「カリキュラム、指導方法について、成果を検証・把握するための資料とする」そうですが、具体的な活用方法が示されていないので、分かりません。
「採点結果や成績表等は、各校に送付される予定」だそうです。個人にも返されるそうです。

Q6 小6生の家庭です。まだ学校から「英語トライアル」のことを聞いていないのですが。

A 学校にも6月10日に文書（実施依頼書、実施日程調査、保護者宛て通知文例・児童案内チラシ）が届いただけです。教科担当者にも説明がなく「保護者宛て通知文例」等の扱いも不明だったので、すぐに配った学校とそうでない学校があるようです。

Q7 「英語トライアル」は市内全体で行うほど、そんなに良いテストなんですか？

A 日本英語検定協会によると、「昨年からはじめた企画」で、まだ「開発段階」のものだそうです。
なお、教育委員会は「開発段階」のテストであるということを学校や家庭に知らせていません。

Q8 民間試験は個人で受けている人もいるから、市全体でやっても問題はないのでは？

A 導入期の外国語学習は「言葉っておもしろい！」と興味を高めていきたいものです。しかし、行

政として試験を実施すると、技能点重視の企業アドバイスに基づいて、学校の授業が変質していく危険があります。実際、市立中学校では、すでに民間企業が各学校に「指導」を行っています。

Q9 長い歴史のある「英検」なら、テストの客観性なども問題ないのでは？

A 確かに、検定級なら「英検」独自のものさしで可否を判断できるでしょう。しかし、標準化した英語力を測るとなると話がちがうようです。今年1月、日本英語検定協会は、当時の高3生に対する「アンケート」で英検の級と各種英語試験の得点を調査しました。これは、歴史ある「英検」でさえ、〇級の英語力はどの程度なのかを客観的に把握していないということです。

しかも「英語トライアル」は、まだ「昨年からはじめた企画で開発段階」のもので、コロナ禍で十分な授業も行えていない。全国的にも小学校英語は教科化されたばかり。今導入して、一体何が検証できるのでしょうか。

また、「高校生の点数を Amazon ギフト券で買う」という事業者の倫理にも不安が残ります。(ご承知の通り、大学入試での民間試験導入は、今年度の本格実施を待たずにとん挫しました。)

高校3年生限定！ 2020年01月15日
英語検定試験アンケートのお知らせ
(ご協力いただいた方には、Amazon ギフト券進呈)

① 実用英語技能検定(英検®)	謝礼
1級～3級(CBT版含む)	Amazon ギフト券(Eメールタイプ) 1,000円～9,000円相当 ※ご返信いただく英語検定試験の種類により謝礼額は異なります
② TEAP®	
③ TEAP CBT®	
④ GTEC®	2種類: 1,000円相当
⑤ GTEC® CBT	3種類: 2,000円相当
⑥ ケンブリッジ英語検定	4種類: 3,000円相当
⑦ TOEIC® LR+SW	5種類: 4,000円相当
⑧ TOEFL iBT®	6種類: 5,000円相当
⑨ IELTS	7種類: 6,000円相当
⑩ センター試験「英語」(※)	8種類: 7,000円相当
	9種類: 8,000円相当
	10種類: 9,000円相当

※⑩センター試験「英語」は2020年1月19日(日)以降のご回答を有効とします。
下記URLにアクセスしてください。
氏名、生年月日、メールアドレス、各英語検定試験の受験日、技能別スコアを入力の上、成績表
明書の必要な情報(暗黙に読み取れる情報をアップロードしてください)。センター試験「英語」は
自己採点結果のご入力のみで、成績証明書はアップロードは不要です。また、最後に簡単なアン
ケートへのご協力をお願いいたします。
お問い合わせ先
日本英語検定協会 英語試験アンケート調査係 E-mail: survey1@wilsnet.or.jp

【2020年1月、3度届いた高3生へのメール内容】

Q10 今の小6だけでなく、今後も毎年「英語トライアル」は行われるのですか？

A 学校にも知らされていないので、分かりません。委員会は目的を「成果の検証」のためだとしてるので、来年度以降も行っていくものと思われます。

Q11 お金はいくらかかるのですか？

A 日本英語検定協会によると、今は「開発途上」だから費用はかからないものの、今後の検討次第で有料化することもあるということです。有料化後もこのテストを実施するのか、市費を投じるのか、または家庭から徴収するのか、全てが不明です。

また、市が民間試験を導入するということは、民間団体にとって、本来ならお金を出してでも得たい回答データが、市内小6生およそ1万人分無償で手に入られることになります。本人も保護者も知らないまま、これらが特定の民間団体・企業の試験開発に「活用」される心配があります。

Q12 「英語トライアル」などの民間試験を行って、子どもや家庭が不利益になることって何ですか？

A 例えば、

- ・「自分は英語ができないのでは」と子どもに不要な不安をあおる。
 - ・公教育が点数を取るための技能重視の学習を強いられ、豊かな外国語学習の可能性を奪われる。
 - ・高得点をとれるように塾に通わせる家庭が増えたり、小さいうちから民間試験を何度も受けたりすることが予想される。家庭の経済的負担が増え、子どもの学習負担も増える。
 - ・子ども同士や学校間の競争につながりやすい。
 - ・個人の得点データ、アンケート回答結果などの個人情報、第三者に保管される危険、知らぬ間に使われていく危険がある。
- などが考えられます。